



講演するアカラクスの坂本社長

アカラククス(株)は8月8日、東京・神田のANJ
オンラインナショナル東京本部で、「2003年3
月期生保決算」と題して第2回セミナーを開催し
た。講師は坂本嘉輝社長。アクチュアリー視点か
ら、生保の決算や財務状況を分かりやすく解説し
た。当日は、FPや代理店など30人が参加した。

生保会社の財務状況を解説

アカラククスが第2回セミナー F.P.代理店など対象に

今回のセミナーは、生保の基礎を含め、生保決算の営業の経験の浅いFPや代理店を対象としており、自分が勧める商品を引き受ける保険会社の財務状況を的確に理解し、自信を持って顧客に勧められるようになることを狙った内容だ。前半では貸借対照表や損益計算書の見方など会計

の基礎を含め、生保の仕組み、銀行の決算との違いなど、初歩的な基礎知識から丁寧に説明した。後半では、それを踏まえて、生保42社の03年度決算数字を一つひとつ分析。分析に当たっては、まず、42社を従来からの日本社、破

産系、損保子会社など8タイプの分類。それに基づいて貸借対照表(資産、負債・資本)、損益計算書のすべての項目を表にして提示し、各項目で生保のタイプごとに共通した数値が見られる傾向を明らかにした。

例え、貸借対照表の資産はほとんどない状況だ。また、自己資本部分について、資本の部の数値から繰り延べ税金資産や評価差額などを控除した計算方法を試みるなど、独自の工夫を凝らした分析を行った。実態を反映した数値を導き出すことで、会社の実際の姿を理解してもらう手をかりたいものだ。

さらに、基礎利益やソルベンシー・マージン比率、格付けについても、それぞれの意味合いを説明しながら、細かい解説を加えた。